



札幌クラブ

c/o YMCA
MINAMI 11 NISHI 11
CUO-KU SAPPORO
〒064-0811
011(YMCA561)5217

The Service Club of YMCA
The International Association of Y's Men's Clubs

キックオフ、YMCAサービス、ASF, RBM

— 主 題 —

- 国際会長 「命の川を信じよう」
- アジア会長 「変化をもたらそう」
- 東日本区理事 「変化を楽しもう」
- 北海道部部长 「心を高めよう！ワイズダムの繋がりを
友情の輪に～」
- 札幌クラブ会長 「x x x x x x x x x x」

- Jacob Kristensen (デンマーク)
- David Lusa (シンガポール)
- 板村 哲也 (武蔵野多摩)
- 中村 義春 (北見)

札幌クラブ役員

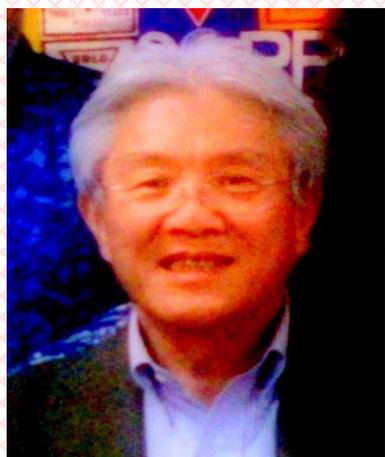
- 会長 宮崎 善昭
- 書記 柴田 伸俊
- 会計 秋葉 聡志
- 直前会長 伏木 康

宮崎 善昭 (札幌)

今月のことば

大きなことを成し遂げるために、力を与えて欲しいと神に求めたのに、謙虚を学ぶようにと弱さを授かった。
偉大なことができるように健康を求めたのに、より良きことをするようにと病気を賜った。
幸せになろうと富を求めたのに、賢明であるようにと貧困を授かった。
世の人々の賞賛を得ようとして成功を求めたのに、得意にならないようにと失敗を授かった。
求めたものは一つとして与えられなかったが、願いはすべて聞き届けられた。 グリフィンの祈り (中田靖泰選)

「ポジティブネット」とは？ 札幌ワイズメンズクラブ 会長 宮崎 善昭



今年度、会長をさせていただきます。よろしくお願いいたします。昨年度は、初めての北海道部長を仰せつかり、十勝クラブの山田さんもありましたので積極的に連携しながら活動をしていこうと考えておりました。しかし、コロナ禍のため例会、イベントや活動は軒並み中止で部長として何も経験できないまま1年が過ぎてしまい残念なことでした。

「ポジティブネット」は、積極的に他者と関わっていくことを「善し」としようとする社会のことであると理解していますが、仮にそうであるならば、積極的とか関わりとかいう言葉は、実にファジーで相対的な意味があるのではないかと考えます。他者との関わりでは、個々のアイデンティティーは、相当不安定で思い込みの強いものであってなかなか深くは入り込めないという前提があり、ファジーな関係を持ってでしか接近できないと理解をしてみました。人間の関係は元来その様なものであるが、しかし、分かり合える共通部分がある。それを拠り所として連なっていく、つまり相手に関心を持って接近し、相互に精神や人間性を高め、柔和な者として平和を創り出すことが可能な社会をYMCAは目指す、他者との間で平和を築き続けながら生きるコンセプトを「ポジティブネット」と言っているのではないかと考えました。大人が真剣にしかも楽しみながら喜びを持った活動を実践している姿をYMCAに連なっている子どもたちに伝えていくことが、イコールパートナーとしてのワイズメンズクラブの在り方ではないかと妄想してみたりしています。

さて、YMCA運動が新たなコンセプトを持ちました。基本的な価値観は変わっていないと思いますが、私なりにその「ポジティブネット」についてのイメージを述べてみたいと思います。それは、その前にあったキャラクター・ディベロプメントのコンセプトとも共通していると思いますが、マニュアルのような明確な型がない、つまり相互にファジーな部分を認めようということではないかと思うのです。

2020年6月例会 出席報告	在籍会員	8名	例会出席	7名	メネット	0名	コメット	0名	メーキアッ	0名
	ゲスト(卓話者)	1名	ビジター	0名	計	8名	出席率	88%		

札幌ワイズメンズクラブ 2020年7月例会

日時： 2020年7月21日(火) 18:30~20:30
 場所： 北海道YMCA 101教室
 札幌市中央区南11条西11丁目
 電話 011-561-5217
 会費： 1,000円

プログラム：

- | | | |
|-----------------|-------|-------|
| | 司会 | 柴田 伸俊 |
| ① 開会点鐘 | 会長 | 宮崎 善昭 |
| ② ワイズソング・ワイズの信条 | 全 員 | |
| ③ 今月のことば | 中田 靖泰 | |
| ④ 誕生日 7月3日 | 中田 靖泰 | |
| ⑤ 結婚記念日 | なし | |

⑥ 「突破口は現場にあり！」

元北見東急百貨店現地代表

湯谷 偉男 様

- | | |
|----------|-----------|
| ⑦ 諸報告 | 各担当者 |
| ⑧ YMCA報告 | 担当主事 北川佳治 |

⑨ 今月の歌

燃えろよ燃えろ
 エポイヤイヤエーヤ
 (北川佳治選)



- | | |
|--------|----------|
| ⑩ 閉会点鐘 | 会長 宮崎 善昭 |
|--------|----------|

札幌ワイズメンズクラブ 6

日時： 2020年6月12日(金) 18:30~20:30
 場所： 北海道YMCA 210教室
 出席者：秋葉、小野、北川、中田、伏木、宮崎
 18:00からYMCA同盟の「共同の祈り~会員ワイズメンズクラブとともに」の礼拝に参加。
 礼拝終了後、YMCAスタッフの武藤麻莉さんから福島^の被災地で行われた研修の報告を聞きました。



札幌ワイズメンズクラブ6月事務会

日時： 2020年6月30日 80:00~19:00
 場所： 北海道YMCA 総主事室
 出席者：秋葉、小野、北川、中田、伏木、宮崎

1. YMCA 共催イベント「クライミング&ヨガ」

日時：7月24日(金) 10:00~12:00
 ワイズ集合：9:30 コーヒーサービス実施

2. チミケップキャンプ場ワーク：次年度中止

3. 決算見込

収支 340,684円 内次期繰越 68,100円の見込
 次期繰越金から 30,000円道Y支援募金に

4. 7月例会：7月21日(火) 18:30~20:30

7月事務会：7月27日(月) 19:00 YMCA

何故この祈りを 中田 靖泰

山手クラブのO先輩がブリテンに「結婚以来60年、二人とも一度も入院したことがなかったが、終活の一つとして『老々介護』が与えられました」と書かれたのを読み、70数年前に読んだことのあるこの祈りを思い出しました。この祈りはアメリカの南北戦争の時、名もなき一人の兵士が田舎の教会の壁に書き残した祈りです。それを見つけて書き写した神父さんの名前をとって「グリフィンの祈り」と呼ばれています。

最初にこの祈りを読んだ時は私は全然感動などはしませんでした。それどころか「弱い負け犬の負け惜しみ」ぐらいにしかなっていませんでした。私も今、O先輩と同じような状況に置かれています。たとえヨブのような立場に置かれても素直な気持ちでこの様な祈りが出来る者でありたいと思います。

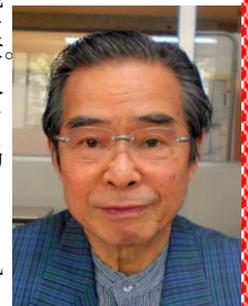
卓話者紹介 湯谷 偉男 様

元北見東急百貨店初初代現地代表。

北海道の経済人が集う「ビズカフェB2」の事務局長を勤める。

北海道流通業界を熟知された知見を活かし、講演、執筆で活躍されている。

趣味も広く、特にマンドリンの愛好家として札幌マンドリン倶楽部で活躍していた。



東日本YMC Aスタッフ研修報告

武藤 麻莉



2020年1月29日～30日の2日間で行われた東日本YMC Aスタッフ研修の報告を致します。場所は仙台、福島で、全国10か所のYMC Aのスタッフ、総主事が集まり研修、交流を行いました。初めに小高プラットホームを訪れました。ここは、住民の方や、訪れた方が情報交換や、交流をする為に小高在住の廣畑さんが開設したコミュニティスペースです。震災前は1万人ほどの人が住んでいましたが避難指示解除をされた今、町に戻って来たのは3,000人程で、明かりも少なく、グレーの世界が広がっていたそうです。その中で「誰かに会いたい」、「誰かと話したい」という思いでプラットホームを開設したとのことでした。今では『人と繋がる場所』となり、避難指示解除をされ小高に戻って来てくれた方々を大切にしたいと思いで、続けているそうです。

その後金先生のキリスト教理解の研修を行いました。金先生の話の中で、強く印象に残っている話があります。1つ目は創世記1章1節～3節の部分のお話しです。【初めに、神は天地を創造された。地は混沌であって、闇が深淵の面にあり、神の霊が氷の面を動いていた。神は言った。】“光”とは何かを考えました。話を聞き、闇があるからこそ光があると知りました。どんな暗闇の中にも光はあり、その光へと導いてくれるのが、友人や、家族、同僚などとの出会いや多くの支えであると教わりました。「人にとって出会いは光へのプロセス」というその言葉がすでに自分を励まし、背中を押してくれているような感覚になりました。

2つ目はマタイによる福音書の中の【隣人を自分のように愛しなさい】という言葉でした。ここでの愛とはagapeh（犠牲・イエスの十字架）となるそうです。金先生の話の話を聞いている中で、振り返ってみると上手くいかない事があると“どん底に落ちた”と感じ闇ばかりを見ていて、順調に物事が進んでいる時は当たり前のように過ごしてきました。しかし、それは違い、上手くいかない事があったときこそ、人との出会いや、手助け・恵みがあり、そのおかげで上手くいっているのだと感じました。全てのことに感謝し、周りを気遣うことを忘れてはいけません。また、犠牲の愛と聞くと、とても重たいものだとイメージしますが、その愛こそキリストの愛であり、私が日々の業務を行う上で必要な心であると感じました。今私自身がメンバーに対して出来ることは何かと考えたとき、“全てを受け入れ愛をもって向き合うこと”、だと心に留めて、日々を過ごしたいと思いました。

2日目は希望の牧場訪問、福島の被災地を巡りました。希望の牧場とは

3.11の原発で被爆した浪江町にある牧場です。そこは立ち入り禁止区域となっていますが、この場所で原発ゼロの未来に向けて“希望の牧場”と名付け今も運動、牛の飼育を行っています。その後被災地の至る所で黒い大きなビニールに包まれた被爆した土が見られました。その土は中間保管場所に毎日大きなトラックで3000台分移動され、全ての移動には約30年かかるそうです。また、最終保管場所・処分の方法はまだ決まっていません。仮設住宅も多数ありました。その仮設住宅にはまた地元に戻る事の出来ない人々が生活をしているのにも関わらず解体作業を進めているとのことでした。その後、現在も帰還困難区域に指定されている地区に向かいました。その地区の住民は自宅に戻る為に役所に申請をし、許可証をもらう必要があります。回数も1ヶ月に4回のみ、1回4時間までと規制されているそうです。道中、ガイドの方から『絶対に窓は開けないでください』という声掛けがされバスの中は緊張感に包まれたことを今でも鮮明に覚えています。



今回の研修で印象的だったのが、この福島の被災地でした。現在もまだ苦しい思いをしている人がたくさんいることに驚き、自分事として感じられていない事に悲しくもなりました。金先生の中で、「無関心」が一番つらい。というお話がありました。無関心は分断と孤独を生む。その言葉が胸に刺さりました。何もできなくても祈るとこはできる。と、教わりました。一刻も早く光が被災地に届きますように祈っております。そして、今現在も困難な生活を強いられている方々に必要なことは明かりを灯すことなのではないかと気付かされました。小さなろうそくの光でも、同じくろうそくを持った人が集まった時、光を与えることが出来ると思います。そして次第に明るくなって町全体が明るく輝くのではないかと感じました。YMCAはその光を集め、広げていく場所であるべきだと感じました。人と人が繋がることによって、小さな光を大きな光へと変えることがYMCAの使命であると改めて気づかされました。YMCAでの様々なプログラムの中で“繋がり”が土台にあり、その上に“成長”があるという事を忘れてはいけないと感じました。

この先も、イエス・キリストの導きを受け、YMCAとして、私個人としても出来ることを探していきたいと思いました。また、今回の研修に参加したことにより、私にとって多くの学びがあり、出会いもありました。全ての学びが私の光に繋がるようにこれからもYMCAの職員として出来ることを、愛を持って行っていきたいと思います。

YMCA ニュース 担当主事 北川 佳治

① サマープログラムについて

今回のサマープログラムは、新型コロナウイルスの影響による小学校の夏休み期間変更に伴い、例年の開催スケジュールと異なっております。館内プログラムは、1期間のみ8月9日～13日の5日間で行います。キャンプに関しては、YMCA キャンプ 100周年の節目となっておりますが、各施設との確認、調整が続いており、現在実施を検討しております。

新型コロナウイルスの影響で様々な制限が掛かり厳しい状況ではありますが、少しでも子ども達に夏の良き思い出を作ってもらえるよう、スタッフ一同、準備を進めてまいります。



② スポーツの日イベント開催

水難事故防止啓発およびコロナ禍による運動不足を家族で解消してもらうため、今年度から「体育の日」より名称が変更となった「スポーツの日」の7月24日に札幌ランチのプール・体育館それぞれで下記のイベントを開催します。

1. プールイベント：ウォーターセーフティー（水上安全）イベント

⇒一般（会員以外）の方対象に、着衣泳と水上安全の啓発イベントを行います。



2. 体育館イベント：親子でクライミング&ヨガ

⇒会員・一般の親子を対象に、親子で行うロープクライミングとヨガのイベントを行います。

*この日、札幌ワイズによる保護者のための『Y's コーヒーコーナー』を開きます。



札幌クラブ会員のワイズな6月

秋葉聡志 初めて iPad ユーザーになりました。使っている iPhone とすべて同期できるので、とても便利です。改めてテクノロジーのすごさを思い知っています。

中田 靖泰 「先生に薬は必要ありません。歩いて下さい」と医者と言います。娘が「父の日」にウオーキングポールを送ってくれました。窓の下は中島公園なのですが、残念なことに最近雨の日や暑すぎる日ばかりでありあまり使われてはいません。

伏木 康 伏木北海道のゴルフシーズンは短く、いつもはゴールデンウィーク前後にシーズン初ラウンドを迎えるのですが、今年は6月にずれ込みました。今シーズンはいつもの年より短くなりそうで残念です。

小野 健 毎年アフリカからの行政官を受け入れている村落給水管理の研修を、今年はオンラインで行うことになり、その企画・準備をしています。そもそも来日すること自体がモチベーションだったのが日本に來れなくなるのでモチベーションをどう保つか、研修コンテンツをどのようなものにしていくのか、向こうのオンライン環境は大丈夫か、などクリアしなければならぬ課題山積みで悪戦苦闘中です。

聖句、巻頭言、今月の歌 担当表

月	聖句	巻頭言	今月の歌
8月	伏木 康	秋葉聡志	柴田伸俊
9月	安田文子	小野 健	中田靖泰
10月	柴田伸俊	北川佳治	伏木 康
11月	宮崎善昭	柴田伸俊	安田文子
12月	秋葉聡志	中田靖泰	北川佳治

札幌ワイズメンズクラブ 2020+2021 年役員

会長	宮崎 善昭
書記	柴田 伸俊
会計	秋葉 聡志
直前会長	伏木 康
Yサ・ASF	小野 健
IBC・YEEP	柴田 伸俊
BF・EF	安田 文子
TOF・JEF	中田 靖泰
担当主事	北川 佳治



ワイズの信条

1. 自分を愛するように、隣人を愛そう。
2. 青少年のために YMCA に尽くそう。
3. 世界的視野を持って、
国際親善をはかろう。
4. 義務を果たしてこそ、
権利が生ずることを悟ろう。
5. 会合には出席第一、
社会には奉仕第一を旨としよう。